



夏季休業中に進路希望先を詳しく調べよう!!

大学入試日程について

下記のように、入試日程の大枠が出されています。大学入学共通テストの出願は、学校で一括して行うので担任からの指示を待ってください。総合型選抜や学校推薦型選抜の募集要項については、公表される時期や内容が大学によって違いがあります。また、総合型選抜等で必要な志望理由書や自己推薦書等もダウンロードで対応する場合がありますため、大学のHP等で確認してください。

○総合型選抜（旧AO入試）

入学願書受付 令和2年9月15日以降 合否判定結果発表 令和2年11月1日以降

○学校推薦型選抜（旧推薦入試）

入学願書受付 令和2年11月1日以降 合否判定結果発表 令和2年12月1日以降

○大学入学共通テスト

出願期間 令和2年9月28日～10月8日まで

試験日 令和3年1月16・17日（または1月30日・31日）

企業見学について

7月1日から、求人票が公開されています。WEB等で興味のある会社を調べていきましょう。企業見学の有無や指定の日時は、求人票に記載されています。進路指導部や担任と連絡を取り、見学日時を調整してください。

なお、企業見学の際は、企業のHPやパンフレットで企業理念や事業内容等を確認した上で、質問したいことをまとめておきましょう。企業見学がただ見学に行くのではなく、自分自身が長く勤めてみたい会社なのか、入社試験を受けてみたい会社なのかを判断する材料にしましょう。当然の事ながら、企業見学が試験にはなりません、高校生としてふさわしい言葉遣い、身だしなみなどマナーには充分注意しましょう。

また、筆記用具を忘れずに持っていき、気になったことや説明を受けたことをメモしておきましょう。

夏季課外・集中学習会を頑張ろう！

○夏季課外

自分の学力を定着させる良い機会です。前向きな姿勢で取り組み有意義な時間にしましょう。特に3年生は、就職・専門学校希望者に対して、自己PRの仕方、面接の練習等を実施します。大学進学希望者は、各教科とも共通テストや一般受験に対応できる課外内容になります。それぞれの進路希望に沿った課外内容になるため、お互いが真剣に取り組み、充実した課外にしていきましょう。

○集中学習会

2・3年生の大学進学希望者対象の集中学習会は、8月4日（火）～8月7日（金）の日程で行われます。例年宿泊を伴うものでしたが、今年度はコロナウィルスの影響で学校での開催です。

2年生は国数英の三教科と小論文の基礎を重視した内容になります。大学受験に向けての基礎知識を身につけ、学力を向上させましょう。3年生は、国数英・理科・日本史と小論文の実践を中心とした内容になります。模試等で見えてきた弱点を克服し、学力を伸ばしていきましょう。3年生は入試科目によって、空き時間が出てきますが、図書室等で自習に取り組んでください。また、自宅での学習時間も増えますが、自律心を持って家庭学習に励みましょう。

オープンキャンパスへの参加

専門学校や大学など志望校を決定する際に大切なのは、しっかりと情報収集を行うことです。“学校の提供する学びや生活”と“自分自身がやりたいこと”のミスマッチを防ぐためにも、入学前に学校への理解を深めることができるオープンキャンパスに参加してみましょう。

学校に赴いてのオープンキャンパス以外にも、現在、コロナウィルスの影響で、オープンキャンパスをWEBで実施している学校もあります。進路希望先のHPで確認してみましょう。

○上手にオープンキャンパスを活用し、受験へのやる気をあげること！

専門学校によっては、オープンキャンパスでの参加者のみが受験できる、「オープンキャンパス参加型総合型選抜」などを設けている場合もあります。志望している学校が実施しているか、調べてみましょう。

大学の学校推薦型選抜では参加自体が評価されるわけではありませんが、面接でオープンキャンパスに参加して感じた事を話せば、志望理由の説得力を強めてくれる場合もあります。さらに入試問題の傾向や対策を解説してくれたり、過去の入試問題集や願書などを無料配布してくれたりと受験に役立つ情報がたくさんあります。

実際に施設や設備を見学したり、教員や先輩たちの話を聞いたりして、その学校の魅力を身近に感じることができれば、受験勉強のやる気につながります。

オープンキャンパスでは、在学生に直接質問ができる相談コーナーが設けられていることがあります。先輩には学校の雰囲気や学生生活、受験勉強のやり方やポイント、大学受験全般についても相談することができます。先輩たちの体験談は貴重な情報となり、受験へのモチベーションをあげてくれるでしょう。

○複数の学校のオープンキャンパスに行き、比較検討しよう！

志望校が決まっている場合でも、他の学校のオープンキャンパスにも参加してみましょう。教育内容や施設を確認・比較・検討できるだけでなく、学校ごとに異なる雰囲気や周辺環境を知ることで、自分の行きたい志望校を絞り込むことができます。学校案内などの冊子の情報だけで決めてしまうのは、ミスマッチにつながります。

希望する学部や学問分野がある場合は、同じような学部や学科・コースを持つ学校を複数訪れ、模擬授業への参加や進路希望先の先生の研究内容等を確認し、最も自分に合う学校はどこなのか検討しましょう。

○事前準備をしっかりしよう。

オープンキャンパスは毎日実施されているわけではありません。希望する学校が見つかったら日程を確認しましょう。高校での模試や部活動、学校行事等との調整も必要になってくる場合は、早めに担任や部活動顧問と連絡を取ってください。実際に学校に行く時もWEBでの参加の時も、事前に予約が必要な場合もあるので注意しましょう。

さらに、ただ参加するのではなく、オープンキャンパスに行く前には、学校案内の資料やHPを見て学校の特徴などを調べておくと、質問したい事項を確認することができ、より有意義なオープンキャンパスになります。当然の事ながら、筆記用具とメモは忘れずに持っていき、気になったことや説明を受けたことを書いておきましょう。

保護者対象進学ガイダンス

7月11日（土）、本校体育館において保護者対象進学ガイダンスを開催しました。講師には株式会社さんぼう専任講師 村井和夫先生をお招きし、入試制度の変更点や進学にかかる費用などについてご講演いただきました。また、お忙しい中、講演会に参加していただいた保護者の皆様にも御礼申し上げます。

講演会では、保護者もオープンキャンパスと一緒にいくことと複数の学校に行くことを勧めていました。その利点として、親子間で共通認識を得られる。保護者が学費や就職先を直接確認できる。保護者の受験に対する理解が深まるなどをあげていました。

新しい入試制度では、総合型選抜（旧AO入試）・学校推薦型選抜（旧推薦入試）のいずれも知識や技能ばかりでなく、思考力・判断力・主体性など重視し、総合的に判断することが改めて確認されました。このため、保護者や生徒たちにとって、学業・生徒会や委員会活動・部活動・ボランティア活動のすべてが進路に大きく影響することを実感できたのではないのでしょうか。

